

ミュージアムパーク茨城県自然博物館第 63 回企画展
「葉っぱ展－個性豊かな葉っぱとその恵み－」における
博物館ボランティアの活動の記録

小泉直孝*・宮本卓也**・鵜沢美穂子**・池澤広美**・
豊島文夫**・大藤克義**・鈴木 肇***・江原章子**

(2016 年 11 月 1 日受理)

**Activity Records of a Museum Volunteer in the 63rd Special Exhibition
“Leafy Secrets: The Diverse Lives of Leaves”**

Naotaka KOIZUMI *, Takuya MIYAMOTO **, Mihoko UZAWA **, Hiromi IKEZAWA **,
Fumio TOYOSIMA **, Katsuyuki OHTO **, Hajime SUZUKI *** and Akiko EHARA **

(Accepted November 1, 2016)

Abstract

"The 63rd special exhibition of Ibaraki Nature Museum, “Leafy Secrets: The Diverse Lives of Leaves” was held from July 4, 2015 to September 23 at Ibaraki Nature Museum. Diversity of the shape of the leaf and the color, the relation between leaves and life and their relation with people were introduced from all angles at this show. The character of the navigator role was established and the world of the leaf with its abundant individuality was made into a composition which can be sensed to make it an exhibition it's easy to be fond of. One period got cooperation from volunteers and did a large number of events in the exhibition hall.

Key words: special exhibition, volunteer activities.

はじめに

ミュージアムパーク茨城県自然博物館（以下“茨城県自然博物館”）では、動物分野、植物分野、および地学分野に関するテーマに基づき、企画展を年に 3 回実施している。この企画展開催については、これまでに国府田ほか（2005）や根本ほか（2006）、久松ほか（2012）などで報告してきた。かつ企画展の開催に関

しては、当館への再来館の理由に企画展の見学を目的に挙げる来館者も多いことから、博物館の運営にも大きな影響を与えている（鈴木、2015）。

本報告では、2015 年 7 月 4 日（土）から 9 月 23 日（水・祝）まで茨城県自然博物館の第 63 回企画展として開催された「葉っぱ展－個性豊かな葉っぱとその恵み－」（以下，“葉っぱ展”とよぶ）の記録を報告する。葉っぱ展では、その運営において多くの場面で博物館

*つくばみらい市立板橋小学校 〒300-2307 茨城県つくばみらい市板橋 2379 (Tsukubamirai City Itabashi elementary school, 2379 Itabashi, Tsukubamirai, Ibaraki 300-2307, Japan).

**ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 茨城県坂東市大崎 700 (Ibaraki Nature Museum, 700 Osaki, Bando, Ibaraki 306-0622, Japan).

***茨城県教育委員会 〒310-8588 茨城県水戸市笠原町 978 番 6 (Ibaraki Prefectural Board of Education, 978-6 Kasahara-cho, Mito, Ibaraki 310-8588, Japan).

ボランティアの協力をいただいた。そこで、その活動の詳細をここに記録し、併せて企画展運営におけるボランティアの役割について考えてみたい。

葉っぱ展の概要

1. 展示の目的

茨城県自然博物館の来館者のグループ構成をみると、家族・親戚での来館が年間を通して非常に多い（戸塚，2006）。また、再来館する理由として「家族で楽しく過ごせる」とした回答も非常に多くなっている（鈴木・小幡，2015）。そこで葉っぱ展では、夏休みの企画展ということもあり、親子で楽しめる体験活動ができる「葉っぱ体験コーナー」や展示室内や野外で楽しめる「葉っぱのスタンプラリー」、「葉っぱクイズ」などを設け、ほかの展示物同様、家族共通の話題で会話ができるような展示構成の工夫を考え、目的を次のようにした。

「葉っぱ」は、どこにでもある身近な存在といえる。私たちの身の回りにはたくさんの種類の植物があり、その数だけ葉っぱの形も異なる。さらに四季の変化が豊かな日本では、同じ木であっても季節ごとに葉っぱの表情も異なる。本企画展では、普段は身近にありすぎてあたりまえの存在としてみられがちな葉っぱに焦点を当て、そのひとつひとつの葉っぱの形や大きさ、美しさや面白い特徴などを紹介すると共に、葉っぱと生きものの関係、人との関わりなど葉っぱから得られる恩恵についても気づいてもらえることを目的とする。

なお展示では、展示室中央に葉っぱ体験コーナーを設けることにより、実際に葉っぱに触れたり遊んだりする活動を通して、家族で葉っぱの面白さや不思議さを語り合えるようなきっかけづくりができるような工夫を行う。

2. 会期

平成 27 年 7 月 4 日（土）～9 月 23 日（水・祝）

3. 展示構成

第 1 部では葉の形や色、大きさなどの多様性、世界のめずらしい葉などを紹介した。第 2 部では「葉っぱの生い立ち」と称して、植物の進化の中で、どのよう

に葉が生まれてきたのかを展示した。第 3 部では、葉のつくりとはたらきについて展示し、第 4 部、5 部ではそれぞれ葉と生きものの関わり、人との関わりについて紹介した（表 1、図 1）。企画展示室中央にはボランティアの運営による「葉っぱ体験コーナー」（図 2、3）を設置した。また、展示のナビゲーターとしてキャラクターを設定し（図 4）、キャラクターがいろいろな葉を紹介しながら各展示を案内するような構成にした。

さらに、各展示を見ながらクイズに答える「葉っぱクイズ」（図 5）、企画展示室内や野外施設に設置した「葉っぱスタンプラリー」（図 6）などで家族で楽しめる内容を計画した。展示の最後には、落ち葉を踏みしめる体験コーナーや大きな葉であるアキタブキと一緒に写真撮影ができるコーナー（図 1）を設けた。

展示資料は、葉の押し葉標本やアクリル封入標本など計 661 点であった。当館所蔵のほか、独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園、群馬県立自然史博物館、群馬県立ぐんま昆虫の森、千葉県立中央博物館、木の葉化石園、東京大学総合研究博物館、財団法人進化生物学研究所、東京大学大学院附属理学系研究科附属植物園、新潟県立植物園、富山県中央植物園、琉球大学博物館などから協力を得た。

4. 葉っぱ体験コーナー（体験活動）、葉っぱスタンプラリー、葉っぱクイズ等の体験活動の導入

茨城県自然博物館の来館者には幼稚園児、小学生、中学生が多いことから、当館ではハンズ・オン展示など体験的な展示の有効性が示されている（太田，2003）。そこで、今回の葉っぱ展では、企画展示室中央に葉っぱ体験コーナーを設置し（図 2、3）、見るだけではない体験的な活動ができる展示の工夫を行った。これらの運営は、茨城県自然博物館ボランティアが中心になって実施した。

さらに、野外施設を有する当館の特長を生かして、企画展示内のほか、野外施設にもスタンプラリーを設置した。これら体験活動の参加者の詳細は表 2、3 に示す。そのほかに、展示室内においてクイズを行った。

葉っぱ展における博物館ボランティアの活動

葉っぱ展における博物館ボランティアの活動は、前述のように主に展示室の中央にある「葉っぱ体験コー

表 1. 企画展の展示構成と主な展示物.

Table 1. The display configuration and main specimen of the exhibition.

コーナータイトル	主な展示品
第 1 部 個性豊かな葉っぱたち	
葉っぱの形や大きさはじつにさまざま。同じ草や樹木であっても、その成長過程や季節、環境によっても大きく変化する。ここでは、その個性豊かな葉っぱの多様性を紹介する。	
形いろいろ	葉っぱのアクリル封入標本、さく葉標本
冬越しの形 ロゼット	セイヨウタンポポ、オオバコ、メマツヨイグサなどのアクリル封入標本
生まれたての葉っぱ 芽生え	芽生えのさく葉標本、さまざまな植物の芽生えの映像
水草の異形葉、溪流沿い植物	キクモ、ウォーターウィステリア、ゼンマイ、ヤシヤゼンマイの生体
紅葉	紅葉の色鮮やかなアクリル封入標本、さく葉標本、紅葉実験の映像
葉っぱに見えない葉っぱ	ハナミズキ、ヤマボウシなどアクリル封入標本、ハンゲショウレプリカ
葉っぱの大きさいろいろ	アキタブキ、オニバス、アカバナナ、ココヤシなどのさく葉標本 ミジンコウキクサ生体
世界の葉っぱ	セイタカダイオウのさく葉標本、ヴェルヴィッチアレプリカ サボテン、チュウテンカク、リトープスなどの生体
その他	ほかモンステラ、アレカヤシ、ゼンマイ、クワズイモなどの生体
第 2 部 葉っぱの生い立ち	
植物の進化の中で、葉っぱはどのようにして生まれてきたのか？化石の情報などから葉っぱの生い立ちを探る。	
最古の葉っぱ	バラグワナチアの化石
大葉と小葉	アニュラリア、ペコプリテス、グロソブテリスなどの化石 ヒカゲノカズラ、マツバラン、トクサなどの生体
塩原の木の葉化石	ブナ、ミズナラなどの塩原の木の葉化石、化石のクリーニング映像
第 3 部 葉っぱのつくりとはたらき	
基本的な葉っぱのつくりとはたらきについて考える。	
葉っぱの内部のつくり	葉の断面、葉の気孔（ブレバート）
葉っぱの模様 葉脈	葉っぱの葉脈標本
光合成	オオカナダモ（生体）、光合成実験
第 4 部 葉っぱと生きものとの関係	
動物の中には葉っぱを食べたり、葉っぱを巣として利用したりするものなど、葉っぱに擬態するものもいる。一方、植物の中には、葉っぱや茎などが変形して捕虫器となるものもいる。ここではそのような生きものを取り上げながら葉っぱと動物の密接な関わりを紹介する。	
葉っぱを食べる	哺乳類の頭骨模型、昆虫の口器模型、アゲハ幼虫模型
葉っぱが食べる 食虫植物	ナガバノモウセンゴケ、タヌキモの捕虫囊の拡大模型、食虫植物生体 食虫植物映像
葉っぱで巣をつくる	カヤネズミ、クイナ、オオヨシキリの巣
葉っぱに擬態する	カレハカマキリ属、コノハチヨウ等の標本
そのほか	
第 5 部 葉っぱと人との関わり	
食料や衣料、時には嗜好品として、葉っぱは私たちの身の回りのいたるところに見られる。ここでは、葉っぱと人との関わりにスポットを当てる。	
葉っぱを食べる	ハクサイ、レタス、柏餅等複製、桑の葉茶、どくだみ茶など
葉っぱと布	芭蕉布の着物、黄八丈など
葉っぱを楽しむ	ローズマリー、アップルゼラニウムなど生体、紙巻きたばこなど
古典園芸植物	オモト、イワヒバ、カラタチバナなど生体
葉っぱとデザイン	木の葉天目、カナダ国旗、鬼瓦（家紋）など
葉っぱと年中行事	ショウブ、やいかがしなど
第 6 部 葉っぱの今 そして未来へ	
葉っぱの構造や特性を利用した製品や技術が近年確立されてきている。その中から私たちの生活にかかわるものを紹介する。	
葉っぱの構造の利用	撥水する布、ハスの葉
緑のカーテン	壁面緑化フレーム、緑のカーテン映像
植物工場	LED 栽培研究セット
そのほか 体験コーナー	
葉っぱ体験コーナー	博物館ボランティアによる日替わりの葉っぱ体験コーナー
葉っぱのスタンプラリー	展示室内 5 か所、野外 5 か所の計 10 か所の葉っぱスタンプラリー
葉っぱクイズ	展示物を見ながらの葉っぱクイズ
食べた葉っぱのおもさ体験	動物（ウシ、ウサギ等）が食べる葉っぱの重さ体験コーナー
落ち葉を踏みしめよう	落ち葉を踏みしめる体験コーナー
アキタブキと写真を撮ろう	大きな葉っぱアキタブキと記念写真

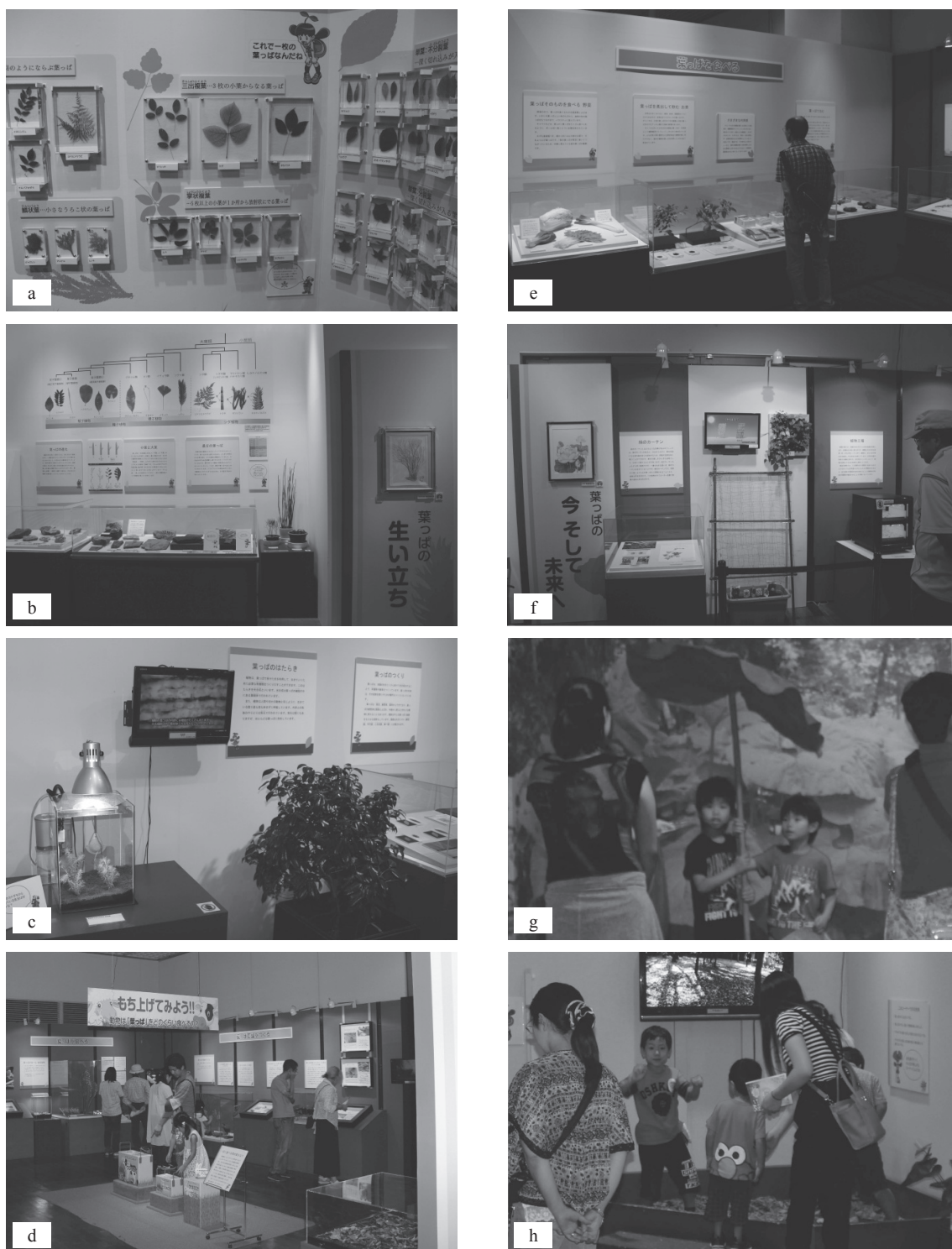


図 1. 葉っぱ展の展示風景.

a: 第1部 個性豊かな葉っぱたち. b: 第2部 葉っぱの生い立ち. c: 第3部 葉っぱのつくりとはたらき. d: 葉っぱの生きものの関係. e: 葉っぱと人との関わり. f: 葉っぱの今 そして未来へ. g: 落ち葉を踏みしめよう. h: アキタブキと写真を撮ろう.

Fig. 1. View of the exhibition.

a: Corner 1. The various leaves, b: Corner 2. The state of the evolution of a leaf, c: Corner 3. Production of a leaf and work, d: Corner 4. Relation between a leaf and a living thing, e: Corner 5. The relation between leaves and people, f: Corner 6. The present and future of leaves, g: Let's step firmly on a fallen leaf, h: Let's take a picture with *Petasites japonicus* subsp. *giganteus*.

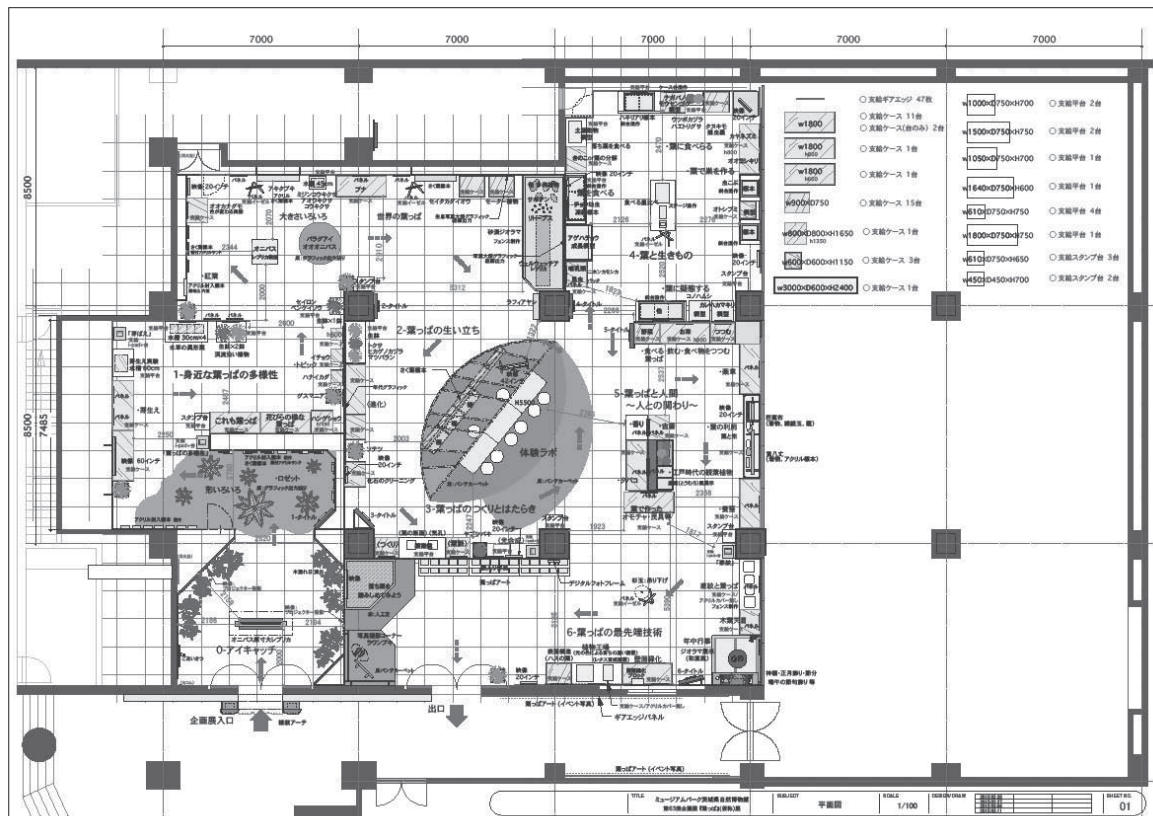


図 2. 葉っぱ展の展示構成（中央に葉っぱ体験コーナーを設置）.

Fig. 2. The exhibition construction of the leaf exhibition.



図 3. 葉っぱ体験コーナーの様子.

Fig. 3. The state of the leaf hands-on corner.

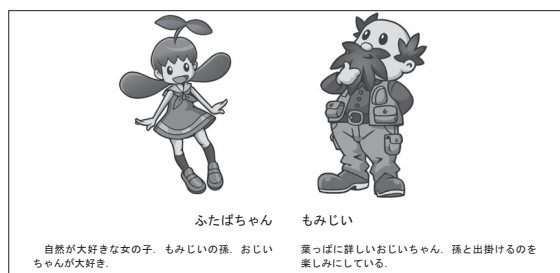


図 4. 葉っぱ展ナビゲーターとして用いたキャラクター。

Fig. 4. The mascot characters to navigate the exhibition.

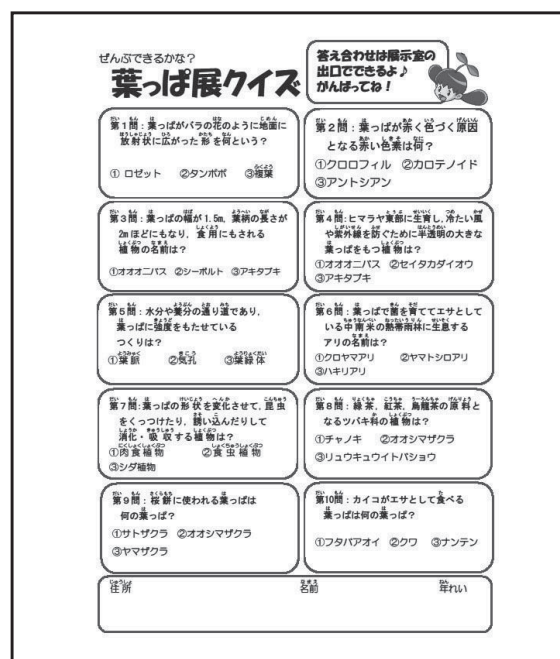


図 5. 葉っぱクイズ。

Fig. 5. Leaf quiz.

ナー体験”が中心であったが、それ以外にも葉っぱ展関連行事として実施されたさまざまなイベントについても協力、またはイベントの主催をして頂いた。以下に、主に行った“葉っぱ体験コーナーの運営”と“イベントの実施”について記す。

1. 体験コーナーの運営

この体験コーナーは、葉っぱ展開催初日の7月4日から最終日の9月23日まで休館日を除き毎日実施した。葉っぱ展開催前から博物館ボランティアとの打ち合わせを重ね、葉のしおり作り、葉のにおい体験などの親子で体験できる催しを準備した。会期中体験コーナーの参加者は14,495人を数え、これは会期中の来

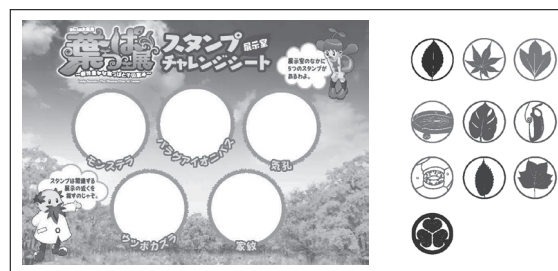


図 6. 葉っぱのスタンプラリー。

Fig. 6. Stamp rally form of the leaf.

館者（107,082人）の13.5%に当たる（表2）。

運営には、52人のボランティアと、ジュニア学芸員養成講座受講生12人、職場体験の中高生25人、10人の学芸員実習生などが参加した。葉っぱ展開催期間中の計71日間に延べ404人が活動を行ったことになる。

2. イベントの実施

葉っぱ展では、展示室の体験コーナー以外にも博物館主催の7つの関連イベントを実施し、参加者は237人であった。（表3）そのうちボランティアが運営したイベントは“とびだせ！子ども自然教室”という子ども向けのイベントであり、これを葉っぱ展期間中に関連イベントとして3回実施し、参加者は計126人であった。

葉っぱ展の評価

1. 来館者数・満足度等

会期中の総来館者107,082人の中から、小学生以上の328名に葉っぱ展に関するアンケートを依頼した。それによると、葉っぱ展の印象を“大変よかった”“まあまあよかった”“どちらともいえない”“どちらかといえばよくなかった”“よくなかった”の5段階の満足度の評価で、“大変よかった”と“まあまあよかった”の合計割合が97.3%を占め、満足度は非常に高かった（表4）。体験コーナーはどうだったかを問う質問では、“良かった”と“ふつうだった”が81.5%を占める一方で、“気づかなかった”“気づいたがやらなかった”“時間外でできなかった”と答えた方が合計18.2%を占めた。これは、体験コーナーの来館者に対する広報不足、体験コーナーのスペースが狭かった

表 2. 博物館ボランティアが運営した葉っぱ体験コーナーでのイベント。

Table 2. The events during the exhibition.

行 事 名	日 時	担当・講師	参加人数
葉っぱ体験コーナーでのイベント	葉っぱ展会期中毎日*		
折り紙・紙芝居・葉っぱのしおり作り	7月4日(土)	博物館ボランティア	165
葉っぱのしおり作り	7月5日(日)	博物館ボランティア	345
葉っぱのしおり作り	7月7日(火)	博物館ボランティア	115
葉っぱのしおり作り・葉っぱのお手紙	7月8日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	95
カラムシの押し葉絵・葉っぱのしおり作り	7月9日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	163
葉っぱで鳥の絵はがき・化石クリーニング演示	7月10日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム 野鳥チーム	48
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	7月11日(土)	博物館ボランティア 化石クリーニング	209
葉っぱのしおり作り・葉っぱのサンダル作り	7月12日(日)	博物館ボランティア	290
葉っぱのしおり作り	7月14日(火)	博物館ボランティア	139
葉っぱのしおり作り・タラヨウでお手紙を書こう・葉っぱのしおり体験	7月15日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	52
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	7月16日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	45
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	7月17日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	89
葉っぱのしおり作り	7月18日(土)	博物館ボランティア	250
葉っぱのしおり作り	7月19日(日)	博物館ボランティア	289
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	7月20日(月・祝)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	239
葉っぱのしおり作り・葉っぱのしおり体験	7月22日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	150
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	7月23日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	224
葉っぱのしおり作り	7月24日(金)	博物館ボランティア 友の会チーム	144
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	7月25日(土)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	216
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	7月26日(日)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	284
葉っぱ遊び(笹舟、飛行機、風車)	7月28日(火)	博物館ボランティア 竹林竹炭チーム	115
葉っぱ遊び・葉っぱのしおり体験	7月29日(水)	博物館ボランティア 植物チーム 竹林竹炭チーム	62
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	7月30日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	137
葉っぱで鳥の絵はがき	7月31日(金)	博物館ボランティア 野鳥チーム	77
葉っぱと昆虫の話	8月1日(土)	博物館ボランティア 昆虫チーム	60
葉っぱと昆虫の話	8月2日(日)	博物館ボランティア 昆虫チーム	50
葉っぱ遊び	8月4日(火)	博物館ボランティア 竹林竹炭チーム	90
葉っぱのしおり作り	8月5日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	143
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	8月6日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	221
葉っぱで鳥の絵はがき	8月7日(金)	博物館ボランティア 野鳥チーム	139
化石のクリーニング演示・葉っぱのしおり作り	8月8日(土)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	286
化石のクリーニング演示・葉っぱのしおり作り	8月9日(日)	博物館ボランティア	352
葉っぱ遊び	8月11日(火)	博物館ボランティア 竹林竹炭チーム	120
葉っぱのしおり作り・葉っぱ遊び	8月12日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	253
葉っぱのしおり作り	8月13日(木)	博物館ボランティア	307
化石のクリーニング演示・葉っぱのしおり作り	8月14日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	458
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	8月15日(土)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	389
葉っぱのしおり作り	8月16日(日)	博物館ボランティア	487
葉っぱ遊び	8月18日(火)	博物館ボランティア 竹林竹炭チーム	73
葉脈のしおり作り・葉っぱ遊び	8月19日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	187
葉っぱのしおり作り	8月20日(木)	博物館ボランティア	269
葉っぱのしおり作り	8月21日(金)	博物館ボランティア, ジュニア学芸員 12 名	238
葉っぱのしおり作り	8月22日(土)	博物館ボランティア, 今野浩太郎	274
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	8月23日(日)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	395
葉っぱ遊び	8月25日(火)	博物館ボランティア 竹林竹炭チーム	134
葉っぱのしおり作り	8月26日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	232
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	8月27日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	206
葉っぱ遊び(笹舟)・葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	8月28日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム 図書チーム	205
葉っぱのしおり作り	8月29日(土)	博物館ボランティア	419
葉っぱのしおり作り	8月30日(日)	博物館ボランティア	460
葉っぱのしおり作り	9月1日(火)	博物館ボランティア	79
葉っぱのしおり作り・葉脈のしおり作り	9月2日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	44
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	9月3日(木)	博物館ボランティア 図書チーム, 学芸員実習生 10 名	33
葉っぱのしおり作り・葉っぱで鳥の絵はがき	9月4日(金)	博物館ボランティア 野鳥チーム 化石クリーニングチーム	74
葉っぱと昆虫の関係・ススキの葉っぱでバッタ作り・化石のクリーニング演示	9月5日(土)	博物館ボランティア 昆虫チーム 図書チーム	100
葉っぱのしおり作り・葉っぱと昆虫の関係	9月6日(日)	博物館ボランティア 昆虫チーム	261
葉っぱのしおり作り	9月8日(火)	博物館ボランティア	50
葉っぱのしおり作り・葉脈のしおり作り	9月9日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	139
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	9月10日(木)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	19
化石のクリーニング演示	9月11日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	15
葉っぱのしおり作り	9月12日(土)	博物館ボランティア	183
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	9月13日(日)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	248
葉っぱのしおり作り	9月15日(火)	博物館ボランティア	133
葉っぱのしおり作り・タラヨウでお手紙を書こう	9月16日(水)	博物館ボランティア 植物チーム	239
葉っぱのしおり作り・カラムシの押し葉絵	9月17日(木)	博物館ボランティア 図書チーム	254
化石のクリーニングの演示・葉っぱでしおり作り	9月18日(金)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	203
葉っぱのしおり作り	9月19日(土)	博物館ボランティア	246
葉っぱのしおり作り	9月20日(日)	博物館ボランティア	377
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	9月21日(月・祝)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	418
葉っぱのしおり作り	9月22日(火)	博物館ボランティア	510
葉っぱのしおり作り・化石のクリーニング演示	9月23日(水・祝)	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	481
葉っぱ体験コーナーでの参加者総計			14,495

*：実施時間は 10：00 ～ 12：00, 13：00 ～ 15：00

表 3. 葉っぱ展関連行事（葉っぱ体験コーナー以外）.

Table 3. The events during the exhibition.

行 事 名	日 時	担当・講師	参加人数
葉っぱづくりーみて知って、さわって学んで、エコバック	4月26日（日）10：00-14：30	小幡和男・小泉直孝・豊島文夫	24*
葉っぱとムシのヒミツの関係	5月9日（土）10：30-12：00 14：00-15：30	中川裕喜・小泉直孝	47*
葉っぱアートをつくろう	5月23日（土）13：30-15：30	栗林孝之（グラフィックデザイナー&枯葉アーティスト）・葉っぱ展スタッフ	50
葉っぱで音をかなでよう	7月25日（土）10：30-11：30	金田 正（ちば里山草笛音楽隊）ほか3名・葉っぱ展スタッフ	26
植物園の葉っぱを観察しよう	8月9日（土）10：30-12：00	堤 千絵（国立科学博物館筑波実験植物園）・葉っぱ展スタッフ	44
葉っぱと虫の関係	8月22日（土）10：00-12：00	今野浩太郎（農業生物資源研究所）・葉っぱ展スタッフ	33
葉っぱとやきものの深い関係	8月23日（日）13：30-15：00	名村実和子（茨城県陶芸美術館）・葉っぱ展スタッフ	13
企画展示室内での催し			
葉っぱのスタンプラリー（企画展示質内及び野外施設）	葉っぱ展会期中毎日	葉っぱ展スタッフ	25,000**
葉っぱクイズ（企画展示室内）	葉っぱ展会期中毎日	葉っぱ展スタッフ	2,383
とびだせ！子ども自然教室			
藍染めをしよう	8月8日（土）10：00-12：00	博物館ボランティア 図書チーム	24***
木の葉の化石をみつけよう	9月22日（火・祝） 10：00-12：00	博物館ボランティア 化石クリーニングチーム	74***
クズのつるで箆を編もう	9月23日（水・祝） 10：00-12：00	博物館ボランティア	28***

*：博物館友の会が主催で行ったイベント
**：およその数
***：博物館ボランティアが主催したイベント

表 4. 「葉っぱ展」の満足度のアンケート結果.

Table 4. Satisfaction survey results of the exhibition.

満足度のランク	回答数	割合
大変よかった	217	66.2%
まあまあよかった	102	31.1%
どちらともいえない	6	1.8%
どちらかといえばよくなかった	2	0.6%
よくなかった	1	0.3%
計	328	100%

ことや、運営時間が短かったことなどの理由が考えられる。

4年前に当館で実施された企画展である第52回の企画展「昆虫大冒険ータケルとケイの不思議な旅ー」では、今回の葉っぱ展と同様に、展示室内に体験コーナーを設置し、ボランティアが運営した（久松, 2012）。そのときの実施内容は昆虫クイズの採点等であったが、昆虫クイズへの実際の参加者は延べ15,319名を数え、昆虫展開催期間の総来館者数95,650人のうち約16%が昆虫クイズを行ったことになる。今回の葉っぱ展は総来館者数107,082人のうち体験コーナーの参加者は延べ14,495人で、これは総来館者数の13.5%である（表2）。体験活動を参加人数によって評価するのは難しいが、体験コーナーが展示の印象に大きな効果を与えたことに間違いはないと思われる。

2. 来館者の声

茨城県自然博物館では、主に展示活動についての内容や運営面での調査を行うために“博物館モニター”

表 5. 「葉っぱ体験コーナー」の満足度のアンケート結果.

Table 5. Satisfaction survey results for the leaf hands-on corner.

満足度のランク	回答数	割合
よかった	216	66.9%
ふつうだった	47	14.6%
良くなかった	1	0.3%
気づかなかった	9	2.8%
気づいたがやらなかった	20	6.2%
時間外でできなかった	30	9.3%
計	323	100%

制度を導入しており、企画展では自由記述式で意見の提出を求めている。葉っぱ展においても46人が感想を寄せており、体験コーナーにおけるボランティアの対応について高評価を得た。以下に、代表する感想を記す。

〈来館者の体験コーナーの感想〉

- ・葉にふれる機会はあまりないので、今回の体験はとても楽しかった。
- ・葉っぱで工作をしたりできるので自然はいいなと思いました。
- ・小さい子にも楽しめる体験コーナーで良かったです。楽しく見学できました。
- ・葉っぱのしおり作成はとても良かったです。今後もミニ体験的な要素があるとうれしいです。

一方、「混んでいて体験できなかった。もっとスペースを増やして欲しかった」や「スタンプラリーに子どもは夢中でしたが、あまりの暑さに外には出られず残念でした」等いくつかの課題も見られた。特に真夏の暑さで野外でのスタンプラリーは難しいとの意見も

多く寄せられた。

今回の葉っぱ展の目的は、“葉の多様性や生きものとの関わりをあらゆる角度から紹介することで、身近にありながら意外と知られていない葉の多様性や利用、面白さに気づいてもらう”ことであった。展示物や体験コーナーなどを通して、それらの目的は概ね達成できたと考えられる。しかし、より詳細な内容の展示を求める傾向もあり、分かりやすい展示と、より深みのある展示の両立が求められる。

3. 葉っぱ展運営におけるボランティアの役割

葉っぱ展は、博物館ボランティアの協力を得て、展示室内に体験コーナーを設けることでたくさんのイベントを実施することができたという点が大きな特徴といえる。企画展示室内に、体験コーナーを設置するに当たっては、職員だけでは対応できない内容であったため、運営を茨城自然博物館ボランティアに依頼した。計画の段階よりボランティアに状況を伝えると共に、ボランティア役員会等でほかのボランティアの各チームにも協力依頼をしてきた。その結果、延べ404人のボランティアが活動を行うことにつながった。

来館者からのアンケートの記述に「今後もミニ体験的な要素があるとうれしいです」など今後の継続を望む意見があったことから、体験コーナーでの活動は、来館者にとって楽しい場になったことは間違いない。体験コーナー（表2）のみならず、企画展関連イベント（表3）の中で、ボランティアは多くのイベントを実施した。ボランティアとのふれあいの中で、展示のみでは味わうことのできない楽しみを来館者に提供することができたのではないかと感じる。葉の体験だけでなく、葉と昆虫の関係などの一部の展示については、ボランティアが詳しいガイドをするなど、来館者には大変好評であった。

しかし、会期中の71日間、毎日イベントを実施することについては、博物館ボランティアにとってやはり負担が大きいと感じた。運営には52人がボランティアが毎日日替わりで作業を分担したが、企画展会期

中の71日間に、計40日以上参加したボランティアが2名、そのほか、計20日以上参加したボランティアが2名いるなど、一部のボランティアに負担が大きかったのも事実である。今回の活動は4年前に当館で実施された昆虫展での取り組みの継続研究といえるが、やはりその点においては、前回同様、課題が残った。今後もさまざまなイベントでの博物館ボランティアとの連携も考えられるが、上記のような課題が克服できれば、より効果的な場の提供も望めよう。

謝 辞

企画展示室の中の体験コーナーの運営に当たり、博物館ボランティアの皆さんには、その準備期間から多くの助言や協力をいただいた。その結果、企画展開催中にたくさんのイベントが実施できたことをうれしく思う。この場を借りて厚く感謝申し上げる。

引用文献

- 久松正樹・小泉直孝・山崎晃司・湯本勝洋・石田容之。2012. ミュージアムパーク茨城県自然博物館第52回企画展「昆虫大冒険：タケルとケイの不思議な旅」の記録。茨城県自然博物館研究報告，(15): 105-113.
- 国府田良樹・小池 渉・村田太郎・宮崎淳司。2005. 開館10周年記念「恐竜たちの足音が聞こえる－中国 そして日本－」展の開催の記録。茨城県自然博物館研究報告，(8): 135-150.
- 根本 智・小幡和男・栗栖宣博・太田俊彦・戸来吏絵。2006. 茨城県内における薬用植物の利用とくらしとの関わり第33回企画展「Yakuso－野山は自然のくすりばこ－」アンケート調査より。茨城県自然博物館研究報告，(9): 95-104.
- 太田俊彦。2003. 企画展におけるプレイコーナーについて。茨城県自然博物館研究報告，(6): 139-148.
- 鈴木 肇・小幡和男。2015. ミュージアムパーク茨城県自然博物館の来館者の意識と動向－来館者アンケートからみる20年の軌跡－。茨城県自然博物館研究報告，(18): 119-125.
- 戸塚佳代子。2006. ミュージアムパーク茨城県自然博物館の来館者の意識と動向－来館者のアンケートからみる10年の軌跡－。茨城県自然博物館研究報告，(9): 89-94.

(要 旨)

小泉直孝・宮本卓也・鵜沢美穂子・池澤広美・豊島文夫・大藤克義・鈴木 肇・江原章子.
ミュージアムパーク茨城県自然博物館第 63 回企画展「葉っぱ展－個性豊かな葉っぱとその恵み－」における博物館ボランティアの活動の記録. 茨城県自然博物館研究報告 第 19 号 (2016)
pp. 117-126.

ミュージアムパーク茨城県自然博物館では、2015 年 7 月 4 日から 9 月 23 日にかけて「第 63 回企画展 葉っぱ展－個性豊かな葉っぱとその恵み－」を開催した。この企画展では、葉の形や色の多様性や葉と生きものとの関係、人との関わりなどをあらゆる角度から紹介した。また、親しみやすい展示にするために、ナビゲーター役のキャラクターを設定し、個性豊かな葉の世界を感じ取れるような構成にした。開催期間中は、ボランティアの協力を得て展示室内で数多くのイベントを行った。

(キーワード): 企画展, ボランティア活動.